



■生徒総会■

5月21日（金）に生徒総会がありました。生徒会活動の1年間の活動方針・年間計画・活動内容を生徒同士で話し合い、決定していく場です。議長として3年生の宮元碧志さん、磯崎虹羽さんが選出され、堂々とスムーズに話し合いを進めてくれました。

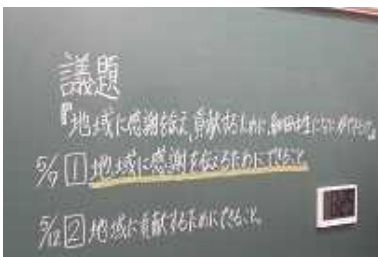
事前に話し合ってきた、生徒会の活動計画、学校への提案・要望などについて質疑応答を行いながら、さまざまなことが決定しました。また、全体討議では、「地域に感謝を伝え、貢献するために細田中のできるごと」という議題について縦割り班で話し合いました。感謝を伝えるポスターやメッセージカードの作成、細田の魅力を詰め込んだパンフレットの作成、清掃ボランティアなど、さまざまなアイデアが生まれました。これから、生徒会のメンバーが1つ1つ形にしていくことと思います。細田中生みんなで、普段どのような方々にお世話になっていて、どうすれば恩返しができるのかを本気で考える、充実した時間となりました。



■生徒総会に向けて重ねられる話し合い■

この日のために、4月から合計4回、学級活動の時間を使って各学級及び全校で話し合いを進めてきました。そして、昼休みなどを利用して「中央委員会」（生徒会執行部、学級役員、全校専門委員長らが出席）が開かれ、要望・意見などを集約・精査・焦点化しながら、生徒総会当日の話し合いを分かりやすく、スムーズになるために検討を重ねました。

この流れ・行程は、国や地方公共団体、地域やPTAなどの様々な組織でも取り入れられている手法であり、『生徒総会』は、中学生にとって政治の一端を学習する良い機会となっています。



■生徒会行事～イースターエッグ■

4月27日（火）の昼休みに、他学年との交流を深めるために、春の行事として、イースターエッグにちなんで、「宝探し」が行われました。

生徒会執行部が、折り紙でカプセルを作り、その中に番号が書かれた玉を入れて作りました。北校舎にそれらを隠し、見つけた番号によって豪華景品がもらえるという、アイデアが詰まったイベントを計画しました。そして、宝探しから景品の発表まで、みんな楽しく、大盛り上がりでした。



■認知症サポーター養成講座■

5月10日（月）に、日南市中央地区地域包括支援センターの中山さやかさん、長寿課の藤本さんを迎え、1、2学年生徒を対象に、認知症サポーター養成講座を実施しました。

講師の方々の問いかけに、生徒たちは自分の考えを素直に答えたり、これからの高齢者に対する対応を真剣に学んでいました。

